

得点		<h2 style="margin: 0;">演習問題</h2> <p style="margin: 0;">連立方程式の応用 ③</p>	実施日	月 日	氏名	
----	--	---	-----	-----	----	--

【1】ある人が A 地から 14km はなれた B 地に行った。A 地から途中の C 地までは時速 4km、C 地から B 地までは時速 6km で歩いて、全体で 3 時間かかった。次の問いに答えなさい。

- ① A 地から C 地までを  $x$  km、C 地から B 地までを  $y$  km として連立方程式を立てなさい。

{

- ② A 地から C 地までと、C 地から B 地までの距離をそれぞれ求めなさい。

【2】ある人が A 地から 2700m はなれた B 地に行った。A 地から途中の峠までは分速 50m で、峠から B 地までは分速 70m で歩いて、全体で 46 分かかった。次の問いに答えなさい。

- ① A 地から峠までを  $x$  m、峠から B 地までを  $y$  m として連立方程式を立てなさい。

{

- ② A 地から峠までと、峠から B 地までの距離をそれぞれ求めなさい。

【3】家から 4.8km はなれたおじさんの家に行くのに、初めは毎分 60m で歩き、途中から毎分 750m のタクシーに乗り、合計 11 分でおじさんの家についた。歩いた時間とタクシーに乗った時間はそれぞれ何分間かを求めなさい。

- ① 歩いた時間を  $x$  分、タクシーに乗った時間を  $y$  分するとき、距離と時間についての連立方程式を立てなさい。

{

- ② 歩いた時間と、タクシーに乗った時間はそれぞれ何分間かを求めなさい。

【4】3%の食塩水と8%の食塩水を混ぜ合わせて、5%の食塩水を 600 g 作りました。

- ① 3%の食塩水を  $x$  g と、8%の食塩水を  $y$  g 混ぜ合わせたものとし、全体の重さと食塩の重さについての連立方程式を立てなさい。

{

- ② 連立方程式を解き、3%の食塩水と8%の食塩水を、それぞれ何 g ずつ混ぜ合わせたのかを求めなさい。

【5】濃さの異なる 2 種類の食塩水 A、B があります。食塩水 A を 200 g と食塩水 B を 400 g 混ぜ合わせると 9%の食塩水が、食塩水 A を 500 g と、食塩水 B を 400 g 混ぜ合わせると 7%の食塩水ができます。このとき A、B の食塩水の濃さを、それぞれ求めなさい。

【6】ある中学校の生徒数は昨年 240 人でしたが、今年度は、男子は 10%増加し、女子は 8%減少し、全体として 6 人増加しているという。

- ① 昨年度の男子を  $x$  人、女子を  $y$  人として、数量の関係を下の表にまとめなさい。

	男子	女子	合計
昨年度の生徒数	$x$	$y$	
今年度の生徒数			
増減			

- ② 連立方程式を立てなさい。

{

- ③ 今年度の、男子と女子の生徒数を、それぞれ求めなさい。